

地域とともに取り組む防災教育



綾瀬中学校地域応援団の活動紹介





綾瀬中学校地域応援団の活動イメージ

あいさつ運動

「学校や地域に明るい声を」

防災・減災

「災害に耐える力を育てる」

○避難所体験

- 避難訓練
 - 防災訓練
- (内閣府 3万円)

美化・緑化

「学校や地域を美しく保つ」

○花壇整備

- 地域美化
- (葛飾区 約4万円)

ボランティア活動 直接的なふれあい

- バランス
- 負担
- 継続・改善

コーディネータ：木村明洋様（青少年委員）

学校支援地域本部

学校

地域教育協議会

方針等の議論

地域コーディネーター

調整

学校支援ボランティア

【活動の例】

- 学習支援
: 授業等において教員を補助
- 部活動指導
: 部活動の指導を支援
- 環境整備
: 図書室や校路など校内環境整備
- 子どもの安全確保
: 通学路における安全指導等
- 学校行事等の支援
: 会場設営や運営等に関する支援

協力依頼

方針等の議論

校長

校長の方針のもとに
学校運営

支援活動

連携

外部人材を活用する事業

- 理科支援員等配置事業
- 小学校における英語活動等
国際理解活動の推進事業
- 地域スポーツ人材の活用実
践支援事業
- 地域人材の活用による文化
活動支援事業
- 地域ぐるみの学校安全体制
整備推進事業など

支援活動

窓口
調整

調整

教員

参画

地域ぐるみ、社会総がかり

《教育支援に意欲のある地域住民》

- 保護者、地域のスポーツや文化に関する団体、学生、様々な資格、
経験、技能を持つ人 など

(参考) 団塊世代(昭和22年~24年生まれ)の退職者: 約280万人
(1中学校区: 平均274.7人)

※上記は標準的な例であり、地域の実情に応じ実施内容等は異なる。



学校避難所の運営について 一緒に勉強しましょう

綾瀬中学校地域応援団
コーディネーター：木村明洋

サブテーマ「水の確保」

- 今年は、「水」をサブテーマに、非常時における備えについて勉強したいと思います。
- 災害時の「水の確保」についての葛飾区の基本的な考え方や、東京都の取り組みの状況について、地域の方と中学生と一緒に勉強できる機会になればよいと思います。
- 応援団と生徒ボランティアがすいとんやアルファ米の「炊き出し」を準備いたします。ご試食ください。
- 初めての試みですから、今回の企画を参考に、来年度の準備を進めて行こうと思います。「電気」「ガス」や「情報」といったテーマを設定し取り組もうかと思っています。

1. 日時・会場

- 平成25年2月2日(土) 9:00~12:00
- 綾瀬中学校

(1) 体育館

① 集合・解散

② 勉強会

③ 防災関係物資展示

④ 簡易トイレ組立て

⑤ 試食(すいとん、アルファ米、非常食)

(2) 備蓄倉庫

(3) 給食室前道路(消火栓からの給水)

(4) 調理室(炊き出し準備)





2. 時程

- 9:00 準備
 - 9:30 勉強会(体育館)
- (1) 講演

「避難所の運営について」

「まちかど防災」減災塾 水島重光様 60分



(2)「水」の確保について

15分

①葛飾区地域振興部防災課

②東京都水道局より



- 10:45 体験

- (1) 消火栓からの給水紹介(給食室前にて)



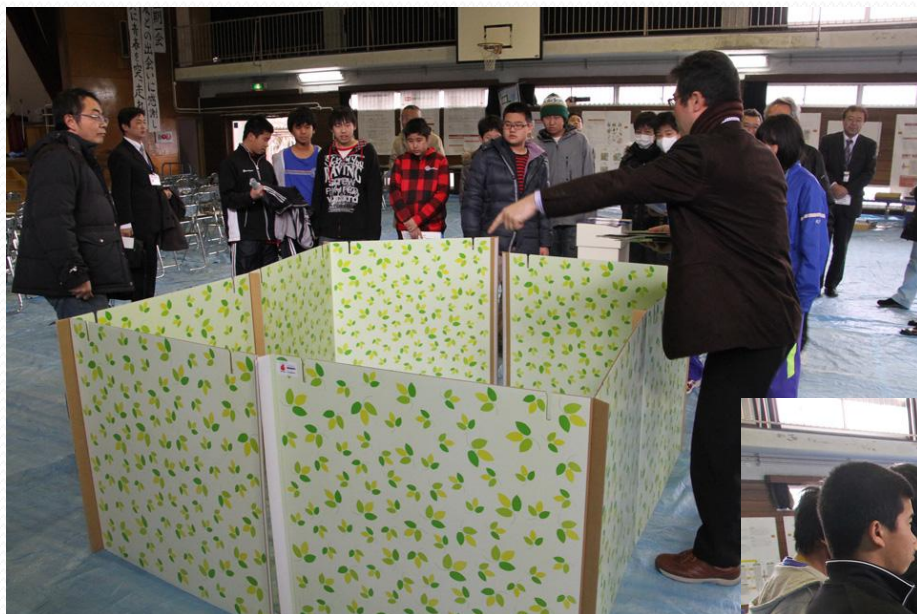
(2) 備蓄品確認(備蓄倉庫にて)



(3) 簡易トイレ組立て



(4) その他の展示







- 11:15 試食(体育館)
(1) すいとん



(2) アルファ米



(3) 非常食各種





3. 対象

- (1) 避難所自主運営本部
 - ① 町会関係 (各部から2~3名)
 - ② 綾瀬中職員 (各班から2~3名) 10名
 - ③ 綾瀬中PTA (各班から2~3名) 20名
- (2) 小菅2、3丁目に住んでいる生徒、家族 40名





4. 運営ボランティア

- 綾瀬中学校地域応援団 10名
- 生徒ボランティア 20名
- 保護者ボランティア 20名



5. 協力

- 小菅東自治会
- 葛飾区地域振興部
地域振興課南綾瀬地区センター
- 葛飾区地域振興部防災課
- 葛飾区教育委員会庶務課
施設開放分室
- 葛飾区教育委員会地域教育課
地域家庭連携係
- 東京都水道局葛飾営業所
- 東京消防庁本田消防署
南綾瀬出張所



- レンゴー株式会社
- 「まちかど防災」減災塾
- 東京都葛飾福祉工場



- 小菅東自治会防火防災部長 滝澤惣一様
- 小菅西自治会防火防災部長 嶋村 透様
- 堀切西町会防災部長 岩田益男様

